



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6557

四半期報告書提出予定日 2019年11月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,385	11.1	249	32.2	152	38.3	148	3.2
2019年3月期第2四半期	2,147	1.6	188	17.2	110	35.0	144	10.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 150百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 206百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	4.97	4.94
2019年3月期第2四半期	4.82	4.80

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	22,943	4,462	19.4
2019年3月期	20,853	4,308	20.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 4,447百万円 2019年3月期 4,297百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	20.1	460	40.5	240	1.4	230	22.0	7.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	30,000,000 株	2019年3月期	30,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	105,562 株	2019年3月期	105,562 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	29,894,438 株	2019年3月期2Q	29,894,559 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の長期化を始めとする不確実な海外要因を背景に製造業における景況感が悪化傾向にあるものの、消費増税前の駆け込み需要や引き続き雇用環境が改善傾向にあることから消費が持ち直しているなど、全体としては緩やかな回復基調が続きました。

こうした中で、当社グループは、経営理念である「進取の精神」と「自利利他の心」に基づき、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、2018年度にスタートした「中期経営方針 Get Ahead of the Future～新しい時代の先へ～」の諸施策に鋭意取り組みました。

商業施設事業におきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、台風の影響がありましたものの夏休み期間も取扱高は堅調で、商業施設の運営は概ね順調に推移しました。また、新館「サントムーン オアシス」の来春開業に向けて引き続き準備を進めました。ヘルスケア事業におきましては、前期末に譲り受けた事業が順調に推移しており、一段のシナジー効果の発揮に注力いたしました。繊維・アパレル事業におきましては、大手百貨店アパレルブランドの業績悪化などアパレル業界の厳しさが続く中、ユニフォーム部門での営業力強化など、市況変化に柔軟に対応するような取り組みを進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高はヘルスケア事業の譲受けによる増収効果もあり、23億85百万円(前年同期比11.1%増)と前年同期比増収となり、また、各事業セグメントにおいて粗利率が改善したことに加え、前年同期の商業施設事業投資に関連する一過性の費用計上の影響が剥落したこともあり、営業利益は2億49百万円(前年同期比32.2%増)と前年同期比増益となりました。さらに、支払利息などの営業外費用を加味した経常利益は1億52百万円(前年同期比38.3%増)と前年同期比増益となり、これに、前年同期の減資に伴う一過性の税金費用の改善効果がなくなったことによる法人税等の税金費用増加がありましたものの、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億48百万円(前年同期比3.2%増)となり、前年同期比増収増益の決算となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### (商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、夏休み関連イベントなどでの集客力向上に努めたことや、家電量販店などでの消費増税前の駆け込み需要もあり施設取扱高が前年同期を上回るなどもあり、売上高は前年同期を上回りました。損益面では、前年同期に計上した第4期開発に関連する一過性の費用計上がなくなり、前年同期比増益となりました。

この結果、商業施設事業の売上高は11億93百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益は4億95百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

#### (ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、前期末の事業譲受け効果により、売上高は前年同期を上回りました。一般寝装品部門につきましても、前期末の事業譲受け効果により業務用寝具の受注が増加したため、売上高は前年同期を上回りました。損益面では、増収効果に加え、好採算の譲受け事業がヘルスケア事業全体の採算性を向上させたことにより、前年同期比増益となりました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は6億51百万円(前年同期比80.2%増)、営業利益は1百万円(前年同期は営業損失13百万円)と第2四半期連結累計期間では5期ぶりの黒字転換となりました。

#### (繊維・アパレル事業)

衣料部門につきましては、国内アパレル市況の厳しさの影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。ユニフォーム部門につきましては、官需ユニフォームが伸びたことから売上高は前年同期

を上回りました。損益面では、前年同期に計上した在庫評価減がなくなったこともあり、前年同期比で損失幅が改善しました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は5億40百万円(前年同期比10.0%減)、営業損失1百万円(前年同期は営業損失14百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は229億43百万円(前期末は208億53百万円)となり、前期末に比べ20億90百万円増加(前期末比10.0%増)しました。主な要因は、現金及び預金の増加2億80百万円、建設仮勘定の増加18億9百万円であります。

負債の残高は184億80百万円(前期末は165億44百万円)となり、前期末に比べ19億36百万円増加(前期末比11.7%増)しました。主な要因は、短期借入金の減少17億66百万円、長期借入金の増加34億85百万円であります。

純資産の残高は44億62百万円(前期末は43億8百万円)となり、前期末に比べ1億54百万円増加(前期末比3.6%増)しました。主な要因は、利益剰余金の増加1億48百万円であります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億71百万円のプラス(前年同期比624.9%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1億52百万円、減価償却費2億4百万円、たな卸資産の増加60百万円、仕入債務の減少1億13百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、15億96百万円のマイナス(前年同期は1億92百万円のマイナス)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出15億96百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、17億5百万円のプラス(前年同期比797.9%増)となりました。これは主に、長期借入れによる収入57億24百万円、長期借入金の返済による支出40億4百万円によるものであります。

これらの各活動の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は20億6百万円(前年同期比11.5%増)となり、前期末に比べ2億80百万円増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月10日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,735,466	2,016,218
受取手形及び売掛金	652,248	660,307
たな卸資産	610,845	670,316
その他	56,460	127,989
貸倒引当金	△1,670	△2,230
流動資産合計	3,053,350	3,472,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,882,421	5,726,777
土地	9,268,089	9,268,089
建設仮勘定	1,762,651	3,571,770
その他（純額）	154,368	176,503
有形固定資産合計	17,067,530	18,743,140
無形固定資産		
のれん	200,114	192,967
その他	4,162	4,350
無形固定資産合計	204,276	197,318
投資その他の資産		
投資有価証券	330,635	326,007
破産更生債権等	87,808	83,256
繰延税金資産	126,768	127,966
その他	67,135	73,345
貸倒引当金	△84,442	△80,228
投資その他の資産合計	527,904	530,347
固定資産合計	17,799,711	19,470,806
資産合計	20,853,062	22,943,407

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	577,915	462,562
短期借入金	2,374,400	608,392
未払法人税等	2,716	4,290
賞与引当金	34,308	39,057
株主優待引当金	28,000	—
その他	733,610	1,085,245
流動負債合計	3,750,950	2,199,547
固定負債		
長期借入金	8,311,000	11,796,810
長期預り保証金	1,567,132	1,565,568
再評価に係る繰延税金負債	2,476,495	2,476,495
退職給付に係る負債	280,991	294,643
資産除去債務	53,712	53,928
その他	104,361	93,888
固定負債合計	12,793,693	16,281,334
負債合計	16,544,644	18,480,881
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	△270,247	△121,617
自己株式	△9,781	△9,781
株主資本合計	△180,029	△31,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18,461	△23,520
繰延ヘッジ損益	△172,806	△164,934
土地再評価差額金	4,664,864	4,664,864
為替換算調整勘定	3,967	2,571
その他の包括利益累計額合計	4,477,563	4,478,979
新株予約権	10,884	14,946
純資産合計	4,308,418	4,462,526
負債純資産合計	20,853,062	22,943,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	2,147,439	2,385,782
売上原価	1,564,930	1,685,039
売上総利益	582,509	700,742
販売費及び一般管理費	394,068	451,577
営業利益	188,440	249,165
営業外収益		
受取利息	12	28
受取配当金	3,180	3,367
持分法による投資利益	2,992	428
その他	862	795
営業外収益合計	7,046	4,621
営業外費用		
支払利息	58,768	95,634
その他	26,699	6,009
営業外費用合計	85,468	101,644
経常利益	110,018	152,141
税金等調整前四半期純利益	110,018	152,141
法人税、住民税及び事業税	3,562	4,709
法人税等調整額	△37,546	△1,198
法人税等合計	△33,983	3,511
四半期純利益	144,002	148,630
親会社株主に帰属する四半期純利益	144,002	148,630

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	144,002	148,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,156	△5,059
繰延ヘッジ損益	△63,877	7,871
土地再評価差額金	△286,747	—
為替換算調整勘定	△1,456	△1,396
その他の包括利益合計	△350,925	1,416
四半期包括利益	△206,922	150,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△206,922	150,046
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	110,018	152,141
減価償却費	244,948	204,222
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△995	△3,654
賞与引当金の増減額(△は減少)	△205	4,748
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△21,000	△28,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,273	13,651
受取利息及び受取配当金	△3,192	△3,396
支払利息	58,768	95,634
持分法による投資損益(△は益)	△2,992	△428
売上債権の増減額(△は増加)	97,478	△14,011
たな卸資産の増減額(△は増加)	△64,699	△60,499
破産更生債権等の増減額(△は増加)	600	4,551
仕入債務の増減額(△は減少)	△109,941	△113,025
預り保証金の増減額(△は減少)	△69,820	△1,923
その他	△125,219	17,991
小計	117,021	268,002
利息及び配当金の受取額	3,192	3,396
利息の支払額	△58,652	△96,256
法人税等の支払額	△37,915	△3,729
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,645	171,413
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△272,864	△1,596,181
出資金の売却による収入	80,824	—
その他	—	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192,040	△1,596,184
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	125,000	—
長期借入れによる収入	300,000	5,724,000
長期借入金の返済による支出	△199,200	△4,004,198
リース債務の返済による支出	△12,807	△10,922
自己株式の増減額(△は増加)	△9	—
その他	△23,000	△3,062
財務活動によるキャッシュ・フロー	189,982	1,705,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	△293
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,557	280,751
現金及び現金同等物の期首残高	1,777,319	1,725,283
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,798,876	2,006,034

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,185,885	361,599	599,954	2,147,439	—	2,147,439
セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	—	66	294	△294	—
計	1,186,113	361,599	600,020	2,147,733	△294	2,147,439
セグメント利益又は損失(△)	457,020	△13,633	△14,974	428,412	△239,972	188,440

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△239,972千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・ アパレル事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,193,951	651,604	540,227	2,385,782	—	2,385,782
セグメント間の内部売上高 又は振替高	228	—	438	666	△666	—
計	1,194,179	651,604	540,665	2,386,449	△666	2,385,782
セグメント利益又は損失(△)	495,815	1,130	△1,539	495,406	△246,241	249,165

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△246,241千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。